

社会科 3年 年間指導計画・評価計画

月	学習単元・内容・ねらい(時数)	評価の観点 (重み%)	評価規準	主な 評価方法
4 5 6 7	<p>【歴史的分野】 ○二度の世界大戦と日本（5） 第一次世界大戦前後の国際情勢を背景に、日本の国際的地位の変化や大正から昭和の国内の動きを通して日本国民の政治的自覚が高まったことを理解させる。</p> <p>○現代の日本と世界（18） 第二次世界大戦後の、日本の民主化と再建、国際社会への復帰について、世界の動きと関連させながら理解させる。</p>	<p>関心・意欲・態度 (25)%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第二次世界大戦について関心を持ち、なぜこのような戦争を引き起こしてしまったのかについて、追究する態度を身に付けている。 ・戦争体験者など、当時を知っている方々に話を聞く機会を、意欲的に利用しようとしている。 ・祖父母や親の体験などを積極的に聞き、個人の歴史と日本全体の歴史とを関連付けている。 ・地球市民として、世界的な視野を持つ公正な歴史観を持つよう努めている。 	提出物 授業観察
		<p>思考・判断・表現 (25)%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各国の動きについて、公正に判断し、自分の意見を述べている。 ・日本の政治、経済、外交の動きを世界の動きと関連させながら考え、当時の日本のとるべき道を判断し、自分の意見を述べている。 ・戦後の日本の歩みについて考え、時代が大きく変わる時期を考え、自分の意見を述べようと努めている。 	授業観察 ワークシート 定期考査
		<p>技能 (25)%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・表やグラフなどを用いて、客観的な統計から、当時の情勢を読み取っている。 ・写真や日記、記録などの資料を活用し、当時の国民の生活の様子を読み取っている。 ・表やグラフなど数量的資料を積極的に活用しようとしている。 ・多くの写真や実物資料を用いて、当時の生活を実感しようとしている。 	授業観察 ワークシート 定期考査
		<p>知識・理解 (25)%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第二次世界大戦とその間のできごとについて、世界の動きと関連させながら、概要を理解している。 ・第二次世界大戦の頃の日本の政治、経済、社会、文化の動きについて理解し、知識を身に付けている。 ・終戦から現在に至るまでのできごとの概要について、世界の動きと関連させて理解し、その知識を身に付けている。 ・終戦から現代に至るまでの問題や、日本や世界のかかえる将来の課題を理解している。 	定期考査
	<p>【公民的分野】 ○わたしたちの生活と現代社会（19） 自分たちが生きる現代社会を概観し、学ぶことで、公民的分野への関心を高めるとともに、政治や経済、国際社会の学習の基礎的な見方や考え方を養い、これ以降の学習につなげる。</p>	<p>関心・意欲・態度 (25)%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現代日本の特色や日本の伝統と文化に対する興味、関心を高め、それらが社会生活にどのような影響を与えているか、また、自分たちがその中でどのように生きていくかなどについて考えようとしている。 ・現代社会をとらえる見方や考え方を学ぶ学習課題に意欲的に取り組み、以後の公民的分野の学習に関心を深めている。 	提出物 授業観察
		<p>思考・判断・表現 (25)%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現代日本に見られる特色や現代社会における文化の意義や影響を多面的多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ・社会生活における物事の決定の仕方やきまりの意義について、身近な生活と関連付けてとらえたり、現代社会をとらえる見方や考え方に基づいてまとめたり、発表したりしている。 	授業観察 ワークシート 定期考査
		<p>技能 (25)%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・写真や図版、統計資料などから現代社会の特色や日本の伝統と文化の意義や影響を読み取っている。その際、地理的分野、歴史的分野で学 	授業観察 ワークシート 定期考査

			習した内容との関連性や、それぞれの事象が相互に関連していることに着目している。	
		知識・理解 (25)%	・現代日本の特色や現代社会における文化の意義や影響を理解し、その知識を身に付けている。 ・現代社会をとらえる見方や考え方の基礎として、対立と合意、効率と公正などの見方や考え方があることに気づき、それらを理解している。	定期考査
9	【公民的分野】 ○私たちの生活と政治－日本国憲法の基本原則（19） 日本国憲法の制定の意義を、大日本帝国憲法と比較検討させながら、日本国憲法の基本原理（基本的人権の尊重・国民主権・平和主義）について理解させるとともに、国民主権との関連で天皇の地位について理解させる。	関心・意欲・態度 (25)%	・人間の尊重についての考え方と法に対する関心を高め、それらを意欲的に学習し、社会の形成者としての立場から民主的な社会生活について考えようとしている。 ・現代社会における人権に関する課題について関心を持ち、意欲的に追究している。	提出物 授業観察
10		思考・判断・表現 (25)%	・日本の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について、具体的な事例から課題を発見して様々な視点から考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ・人権思想の展開と日本国憲法の成立について、歴史的な分野での学習内容を踏まえながら、多面的多角的に考察し、適切に表現している。	授業観察 ワークシート 定期考査
11		技能 (25)%	・人間の尊重についての考え方や法に関する様々な資料を収集し、学習に役立つ情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	授業観察 ワークシート 定期考査
12		知識・理解 (25)%	・人間尊重の考え方、社会生活における法の意義と法に基づく政治の重要性、日本国憲法の基本原理（基本的人権の尊重・国民主権・平和主義）、天皇の地位と国事に関する行為について理解し、その知識を身に付けている。	定期考査
		【公民的分野】 ○私たちの生活と政治－民主政治と政治参加（23） 身近で具体的な事例を通して政治に関心を持たせ、主権者として進んで政治にかかわっていかうとする意欲と態度を育てる。	関心・意欲・態度 (25)%	・国や地方公共団体の政治に対する関心を高め、政治についての学習に意欲的に取り組んでいる。 ・民主政治をよりよく運営していくためにはどのような仕組みが必要であるか、また自分たちはどのようにかかわっていけばよいかを考えようとしている。
		思考・判断・表現 (25)%	・政治に関する様々な話題や課題について、対立と合意、効率と公正などの視点から多面的多角的に考察するとともに、主権者としての政治参加の在り方について考えている。 ・国や地方公共団体の政治、裁判に関する体験的学習を通して、学んだことや考えたこと、その過程や結果を適切に表現している。	授業観察 ワークシート 定期考査
		技能 (25)%	・国や地方公共団体の政治に関する新聞記事、法令、判例などの資料を様々な方法で収集、選択し、政治や社会の現状や課題などについて読み取ったり、文章や図表などにまとめたりしている。	授業観察 ワークシート 定期考査
		知識・理解 (25)%	・国や地方公共団体の政治の仕組みについて、主権者や地域住民の立場から理解し、その知識を身に付けている。 ・多数決の原理や政党の役割、公正な裁判の保障などについて理解するとともに、国民の政治参加の重要性を理解している。	定期考査
1	【公民的分野】 ○私たちの生活と経済（29）	関心・意欲・態度 (25)%	・身近な経済的事象から、企業の生産活動、金融の働き、国や地方公共団体の経済的役割など	提出物 授業観察

2 3	調査活動や討論、ディベート、シミュレーションなど、多様な学習活動を展開することにより、経済に対する関心を持たせるとともに、経済活動に関する諸課題について、自ら考えようとする態度を育てる。		<p>について関心を持ち、経済上の諸課題について意欲的に追究しようとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費者問題や労働、財政などについて、自分の現在及び将来の生活と密接にかかわっていることに気付き、調査活動や討論などに積極的に取り組んでいる。 	
		思考・判断・表現 (25)%	<ul style="list-style-type: none"> ・企業の社会的責任や日本の財政の課題などについて、対立と合意、効率と公正などの視点から多面的多角的に考察し、考えたことをわかりやすく表現している。 ・様々な経済的事象や現代の日本経済の課題について、消費者や生産者、労働者、政府、納税者などの立場から多面的多角的に考察し、自分の考えをわかりやすく表現している。 	授業観察 ワークシート 定期考査
		技能 (25)%	<ul style="list-style-type: none"> ・経済活動に関する統計資料や新聞記事などを様々な方法で収集し、適切な個人や企業の経済活動、国や地方公共団体の経済的役割について、様々な資料を収集、選択し、企業の経済活動や日本の財政上の課題などについて読み取ったり、文章や図表などにまとめたりしている。 	授業観察 ワークシート 定期考査
		知識・理解 (25)%	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な事例をもとに、消費や労働、生産と金融の仕組みや働きについて理解するとともに、市場経済の基本的な考え方を身に付け、その考え方を活用して経済的事象をとらえている。 ・社会資本の整備や社会保障の充実など、国民の生活と福祉の向上のために国や地方公共団体が果たしている役割を理解し、その知識を身に付けている。 ・経済活動に伴う環境汚染や自然破壊の問題について理解するとともに、それに対して政府、企業、個人などの様々なレベルで取り組むことの重要性を理解している。 	定期考査
	<p>【公民的分野】</p> <p>○私たちと国際社会の課題（27）</p> <p>国際社会が抱える諸課題に対する関心を高め、様々な資料を適切に収集、選択して多面的多角的に考察させる。また、その解決のための国際的な努力について理解させる。</p>	関心・意欲・態度 (25)%	<ul style="list-style-type: none"> ・国際社会の抱える諸課題に対する関心を高め、課題を意欲的に追究し、よりよい社会を築くための解決策について考え続けようとする態度が見られる。 	提出物 授業観察
思考・判断・表現 (25)%		<ul style="list-style-type: none"> ・様々な統計資料や写真、新聞記事などから、国際社会の抱える諸課題を見だし、世界平和の実現と人類の福祉の増大について様々な視点から考察するとともに、持続可能な社会の在り方について、様々な観点や立場から判断している。 ・学習した事柄、考察した過程や結果を図表に表現したり、レポートにまとめたり、発表や討論などを行ったりしている。 	授業観察 ワークシート 定期考査	
技能 (25)%		<ul style="list-style-type: none"> ・国際社会の諸問題に関する様々な資料を収集し、学習に役立つ情報を適切に選択して活用している。 	授業観察 ワークシート 定期考査	
知識・理解 (25)%		<ul style="list-style-type: none"> ・世界平和の実現と人類の福祉の増大にかかわって、国家間の相互の主権の尊重、各国国民の相互理解と協力の大切さについて理解している。 ・国際社会の様々な課題と、その解決のための国際社会の取り組み、日本の国際貢献の在り方について理解し、その知識を身に付けている。 	定期考査	